

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

August / 8 / 2014 # 17

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『ソロ・リサイタルを終えて』

[2] Pepeのひとりごと

『吹奏楽コンクール、県大会』

[3] おすすめ動画

『De la pasión por la música a través de la tuba | David Muñoz | TEDxGijón』

『CD "Beyond the Trombone" Guillaume Varupenne』

[4] 演奏のヒント！

『フレーズを作る』

[5] これを吹きたい！ ＊新トピック＊

『Sonata in F (Marcello)』 - 後編

[6] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『ソロ・リサイタルを終えて』

1ヶ月前はスペインのバルセロナにいて、毎日忙しくも楽しい日々を送っていました。:)

暑いといっても日本のように湿気があるわけではないので、風があると本当に気持ちいいんですよ！

前号を書いている時に参加していたフェスティバルでのソロ・リサイタル、いろいろな人に助けられ、無事成功させることができました。

そのリサイタルでの演奏は、YouTubeにアップしていますので、ぜひ観てみてくださいね！！

わらべうた春秋（千秋次郎）

<https://www.youtube.com/watch?v=Z6C7nZO0iDs>

ユーフォニアム協奏曲「皇帝」（マルセル・ケントツビッチ）

<https://www.youtube.com/watch?v=D5xiskxieKw>

海の歌（新井秀昇）

https://www.youtube.com/watch?v=bE_-YtO9rSU

2つの夢（真島俊夫）

<https://www.youtube.com/watch?v=TbgpS5SH9VE>

とっかあた（中橋愛生）

https://www.youtube.com/watch?v=2KO74Cl1_ZA

[2] Pepeのひとりごと

『吹奏楽コンクール、県大会』

今年も吹奏楽コンクールの時期がやって来ましたね！
僕の住んでいる愛媛では、先週末を挟んで愛媛県大会が開催されました。

4日間に渡り開催されたのですが、今年僕は毎日少しずつ聴きに行きました。

すべての部門を聴いたのは、もしかしたら初めてかもしれません。今年はずべての部門にレッスンをしたバンドがあったので聴いたのですが、新しい経験は新鮮でしたっ！：)

部門に関係なく、毎日「今、最高の演奏」を聴くことができました。音楽、ことに演奏は常に「一期一会」なのですが、吹奏楽コンクールでの演奏は、どのバンドの演奏もまさに「一期一会」で、その瞬間にしか味わえない瞬間を経験することができました。演奏の善し悪しに関係なく、一所懸命いい音楽をしようとしているのを見る（聴く）のはよかったです。

そこで一つ感じたことがあったのですが、一所懸命いい音楽をつくらうと思っても、基本的なところで違っているとうまくいきません。愛媛では特にそうなのですが（プロフェッショナルの人がいないのが大きな原因だと思われます）、専門の指導を一度も受けずにがんばっても、ある程度のところまでしかいきません・・・。

例えば、そのやり方だとうまく頑張っても大きな音量は出ないのに、一所懸命頑張っている状態とか（涙）。
こういう状態を見ると、本当に残念に思います・・・。

コンクールとして明確に上の成績を目指しているところは、ぜひしっかりと専門のレッスンを受けてもらいたいと強く思いました。

そうすると、生徒たちのがんばりももっと音や演奏となって表に表れてきます。それに、いい演奏に近づいていくことを実感できるとさらに音楽のことを好きになりますからね！！

あと、いろいろな団体の演奏を聴いて感じたことなのですが、自分の楽器の「いい音」をぜひ知ってもらいたいと思いました。

知るためには何をするといいか？

いろいろな人の演奏や音をたくさん聴くと、自然と何がいい音なのか、どのような音を自分が出したいと思っているのかを知ることができます。

今はインターネット経由でたくさんの演奏を聴くことができます。ぜひ好き嫌いを簡単には出さないで、いろいろな人の演奏でいろいろな曲を聴くようにしてくださいね！！

自分の楽器の「いい音」を知るだけで、毎日の練習が中身のあるものになりますよ！：)

[3] おすすめ動画

『De la pasión por la música a través de la tuba | David Muñoz | TEDxGijón』

<https://www.youtube.com/watch?v=Mg2s348cTZk&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=1>

今回は有名なイベント、TEDに僕の友達が出演してTubaのことを話したようなので、それを紹介します！

・・・とは言っても、僕もスペイン語はわからないので彼が何を

話しているのかはわからないのですが（笑）。

でも、こういう世界でも有名なイベントにTubaのことが出てきたことはとても喜ばしいことだと思います！！

これからも金管楽器の世界をみんなで広げていきましょうね！！ :D

『CD "Beyond the Trombone" Guillaume Varupenne』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=Sr2lpZuRejA&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=9)

[v=Sr2lpZuRejA&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=9](https://www.youtube.com/watch?v=Sr2lpZuRejA&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=9)

これは、僕の同門の友人Guillaumeの新しいCDのプロモーションの動画です。

彼はもともとEuphonium吹きで、将来のことを考えてEuphoniumと同時にBass Tromboneも吹き始めました。

どうやら彼の初のソロCDが発売されたようです。

とてもパワフルな演奏をします。

特にBass Tromboneの人は、ぜひ聴いてみてくださいね～！ :)

P.S. この動画では愛想が全くなくて怖いですが、とっても優しくていいやつですよ（笑）。

[4] 演奏のヒント！

『フレーズを作る』

メロディーを吹くときに、みなさんはちゃんとフレーズのことを気にしていますか？

フレーズのことを理解してからメロディーを歌い、それから楽器で演奏している人は正解です。

でも、そこに落とし穴ができてしまうことがあるんですよ。

落とし穴とは何かというと、フレーズを考えてメロディーを歌おうとする時、表現をしようと考えすぎてメロディーラインが必要以上に凸凹になってしまうということです。

こうなってしまうと、メロディーが聴きづらくなってしまいます。

これは、誰しも一度は通って行く道だと思います。

そこで、こうならないようにするためにどのように気をつけていくかというと、練習の過程でときどきフレーズ全体を考えて、必要以上の起伏ができてしまっていないかを確認していきましょう。

（抑揚をつけすぎている場合、メロディーが聴こえにくくなっていることが多いです）

「表現する＝抑揚をつける」と単純に考えてはいけませんよ。

抑揚は、なければならぬ単純になってしまいますが、逆にあり過ぎるとフレーズ（メロディー）本来の姿を隠してしまいます。

「いいバランスを取る」ことを常に意識して、フレーズに沿って、そのフレーズがよりよく流れるような抑揚をつけていく練習していきましょうね！！

[5] これを吹きたい！ ＊新トピック＊

『Sonata in F (Marcello)』 - 後編

前号で、ここのトピックの記事を更新し忘れていたようでした・・・（泣）。
ごめんなさい。

今、新しい記事を書いてからその間違いに気づきました（涙）。

ということで、今回は前号と前前号に続いて（笑）チェロの曲である
Marcello作曲の「Sonata in F」を取り上げようと思います。
今回は3、4楽章をみていきましょう。

3楽章はとてもゆっくりで、ソロの動きも少ない曲ですね。
常に自分以外の音を聴きながら演奏していくようにすると、音程のことはもちろん、いろいろなバランスの取り方がわかってきますよ。

バランスというのはいろいろな要素を含むので簡単には説明できませんが、常に自分以外の音（ピアノとの場合はピアノの音）を常に聴きながら演奏することによって、「この音を少し大きめにすると安定感が出る」や「この音が大きいとバランスが悪くなって不安定になる」というようなことがわかってきますよ。

B管の楽器はAの音程が低くなる傾向が高いので、この楽章では特にAの音程に気をつけてみるといいと思います。

まずは2小節目ですね。3拍目の1オクターヴ上がったAの音程がちゃんと1オクターヴ分上がるように頭の中でしっかり音程をとって演奏するようにしましょう。

その他、4小節目の2拍目のAは下がり過ぎないように、8小節目の1拍目のAはちゃんと1音分上がるように、「1音分（半音2つ分）」というのを意識してみましょう。

ここで注意事項を。

音程を上げるために「高めにとる」というやり方をすると、場合に

よっては高すぎる事にもなるので、ちゃんと「正しい音程」を頭の中でとって演奏するようにしてくださいね。

最後に、このようなゆっくりな曲の場合は頭の中で8分音符や16分音符でカウントするようにしましょう。

そうしないと、本番で息が足りなそうなときに走ってしまったりすることがなくなりますよ。

あと、ブレスの前の音が短くなり過ぎないようにするためにも、細かい音価でカウントするというのは役に立ちます。

ぜひいろいろな曲でやってみてくださいね！ :)

続いて4楽章にいきましょう。

アウフタクトがある曲ですね。アウフタクトの音からこの楽章の持っているスピード感や勢いを表現できるように、息の吐き方や吸い方をいろいろと工夫してみてください。

基本的には、前号で書いた1楽章で気をつけたことを、同じように気をつけるといいと思います（音程やダイナミクスなど）。

意外と、1小節目の1拍目のFの音程のことをいい加減にしちゃったりしますよ。アウフタクトのCから5度のような気がしてしまいましたが、実は4度ですよ（笑）。

上がり過ぎないように気をつけましょう。

1楽章と同じように、この楽章もピアノの左手だけでも演奏してみてくださいね。

どの音が重要なのか、などがなんとなくわかってきますよ。 :)

テンポキープの練習にも有効だと思います！

忙しい楽章なのでブレスを取るのも大変だと思います。

速いパッセージのところでもブレスを取るとは思いますが、練習の時には吹き始める場所をいろいろと変えて、ブレスを取るところでブレスを取らないようにしても練習しましょう。

ブレスをしないと吹けないという状態で本番をすると、本番中、思いもよらないことが起こってしまいますよ。

編集後記

前回バタバタの中で発行をしたからか、5つ目のトピックが新しい記事になっていませんでした（涙）。せっかく間に合わせて書いたのに、それが届いてなかったことを今知って、ショックを受けています・・・（笑）。

5つ目の新しいトピック「これを吹きたい！」ですが、特にリクエスト

もありませんし、「やめようかな」と思っています（かなり書くのに
時間と労力が必要なので）。

もし続けてほしいという声があるようなら、早めに連絡をください。 :)
そうでなければ、やめようと思っています。

（今回用にしたものが1つあるので、それだけは来月載せるかも
しれません。笑）

よろしくお願いします！ :)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com